



寄稿

共に歩もう



な時、私たちは、他人のせいにして、諦めたりしてしまいます。しかし、阿弥陀さまのはたらきに出会い、真実の教えに基づいてわが身を振り返るとき、あらゆるいのちの繋がりの中で生かされている私に気付かされます。」

とお述べになっております。

私たちは、阿弥陀さまの願いに包まれ、浄土真宗のみ教えを聞き、お念仏申す人生を歩ませていただく縁をいただきました。この限られた人生だからこそ、いただきたい縁を大切に、一日一日を大事に過ごしたいものです。

また、御正忌報恩講ご満座の後「伝灯奉告法要」についてのご発布いただき、平成二十八年および二十九年に「伝灯奉告法要」がご修行されることになりました。

新門主をいただき、次世代への新たな歩みの始まりとして、このご縁に出遇えることを、みなさまとともに喜びたいと思います。

合掌

法統継承を「縁に

山陰教区教務所長

中尾了信



昨年六月五・六日に「法統継承式」が執り行われ、第二十五代専

如ご門主様が法統を継承され、初めての年末年始・御正忌報恩講をお勤めいただきました。

専如ご門主さまは年頭にあたり「私たちの人生は、思い通りにいかないことがたくさん起こります。そして、自分の力だけでは解決できないこともあります。そのよう

会長就任挨拶

鳥取因幡組 光輪寺

三村善信



一昨年、前会長であった田中圓而氏が、一身上の理由で退任の

意志表明され、後任に就任したところですが、昨年五月十四日の理事会での役員改選に伴い、理事各位の推せんにより会長に就任することに相成りました。

浅学菲才であります。みなさまのご指導、ご鞭撻を賜りながら、努めて参りたいと思っております。よろしくお願いする次第であります。

さて、宗門では、今まさに基幹運動から実践運動が展開されております。

私達、門徒推進員は常に本山での中央教修で誓ったことを改めて

思い起して、反省することがあるとすれば反省して自覚をもって小さいことからコツコツと実践してゆく気概が望まれるところであります。

また、連研の充実と門徒推進員の増員を図るよう、例年重点項目に掲げられておりますが、各寺院のご住職の協力を得ながら、増員に努めて参りたいものだと思います。

叙上の事項を達成するための環境づくりに率先して努めて参りたいと思いますので、重ねてみなさまのご支援、ご協力をお願いする次第であります。

袖触れ合うも

タシヨウの縁

鳥取伯耆組長

前田智博

この言葉はよく知られているのですが、タシヨウは「多生」と書き、「多少」ではありませんね。

縁とは全ての物と物のつながり

を起こすことで、多生とは遙か昔より何回も生死を繰り返して六道を迷い抜いて現在の娑婆世界に生かされている我々の事です。

我々は、過去世においての業縁によって様々な出会の中で現在を生かされているのですが自分の身の上で起きた事は、つい良縁悪縁と勝手に決めつけがちです。

お釈迦様は、この世の出来事は個々の思い、行動とは関係なく起こり、仏のおはからいにより、正しさに縁起の法で粛々と変化していると言われています。

悪縁とばかり思っていた事が思いがけなく人生の大事な道標となり、又、人を導くためのきっかけとなり得ます。

実践運動は平成二十七年度から新たな展開を迎え、より更なる推進を目指す運動となり、連研・中央教修で培った実践運動の理念を踏まえ、自信教人信の心構えで周りの人の喜びは自分の喜びと分かち合う自利利他の気持ちをもって門徒推進員の皆様の一層のご活躍が期待されています。

## 門徒推進員はお寺の宝

大田西組長

藤谷 崇文

門徒推進員の皆様方には、いつも御法義相続のためご尽力を賜わっておりますこと、厚くお礼を申し上げます。

申すまでもなく、浄土真宗の寺院の目的は、

- ・浄土真宗の教義をひろめ、
- ・法要儀式を行ない、
- ・寺院に属する僧侶、門徒その他の信者を教化育成し、
- ・その他寺院の目的を達成するための業務、及び礼拝の施設その他の財産の維持管理を行うことでもあります。

このように、寺院の目的を達成するための業務は、非常に広範囲で、多岐にわたります。その活動を中心になって進めていくのは、勿論、住職や坊守、寺族でありませんが、なかなか手がまわりかねる

というのが私の本音の所です。一例を挙げますと法要をお勤めするについては、期日の設定、講師の選定依頼、広報案内、内外の清掃、内陣の荘厳、お斎の打合せ、法要役員の依頼等々を経て当日を迎えることとなります。

門徒推進員の方々には、いろいろな経験を積んで来られた、多才な集団であります。自分の得意な分野で活動され、住職を助け、御法義繁盛に、ご活躍いただければ、この上ない有難いことと思います。

## 啓発された 実践運動研修会

鹿足組 正法寺

佐堂 博

ご講師・松浦英篤師の講義内容に多々共感し、多くの点で啓発されました。取り分け、実践運動の大田東組「イメージ図」には驚嘆致しました。「門徒推進員部門」が

この組織図にキチッと明示されておりました。当然と云えば当然のことでもあります。

しかしながら、門徒推進員の数が若干名の「組」においては、認知度が極めて低く、「組織図」の中に組み込まれているかどうかは、はなはだ疑問。

門推養成の「連研」なるものの歴史は当組に於いても、極めて古い旨、承って来ました。参加者の中に「連研ノートC」を持参されたお方を、お見かけしたのがその証左。「D」の発刊からでも、既に二十年以上が経過しています。

ことほど左様に、永年に亘る「組」のご尽力に反して、門推の数がとても少ないのは事実です。

このような現状にあつて、多くの「門推」のおられる所と同じ土俵で「実践運動」を論じることは困難というのが今回の実感でした。「所属のお寺」↓「組」↓「教区」さらには全国とつながる諸活動に対して「話し合い法座」で承った多くの具体例は非常に参考になりました。手始めに所属のお寺から。



## 山陰教区門推協

## 総会・研修会

出雲組 東林寺

岸 本 邦 夫

本年度の総会・研修会は、出来るだけ多くの会員に参加いただきたく、出雲ビックハートで開催し百五十一名の出席がありました。

総会に続き研修会があり、連研中央講師の、坂原英見師より「連研ノートE」についてお話しいただきました。本年より「連研ノートD」から「E」に変更され、団塊世代以降に対応するとともに、初めてお寺に参る人にも取り組みやすい内容となっています。

その内容は、新たな「十二の問い」が示され「自分の内面を掘り下げる↓自分と社会の関わりを確かめる↓新たな出会いをいただく」という流れの構成となっています。

更に「十二の問い」にはサブテーマ「私の問い」が設けられ、話

し合いの糸口となるもの・これまでの連研で出された意見・参加者の視点を広げる役割をもつもの三つの観点から提示されています。

連研は、一般論・知識・教養を身につける研修ではなく、参加者それぞれの苦悩を話し合い・聞き合う中で、参加者それぞれが「私の歩む道」にであっていくことをめざすことであります。

聴聞する人が激減している現在・連研により寺に参る人が増え、主体的に聴聞してみようとなるようなご縁を結んでほしいとのお話をいただきました。

#### 第四連区門徒推進員 実践運動研修会に参加して

松江組 真光寺

澤 洋 征

今年の研修会は備後教区のお世話で福山市で開催されました。中央講師の朝戸臣統先生の問題提起

の後、話し合い法座は、災害支援環境問題、高齢社会、ターミナルケア、子育て支援、自死自殺、葬送儀礼、日常の寺院活動の八つのテーマで行われました。私は、第一班でテーマは「災害支援」。広島島の土石流災害、御嶽山噴火の直後でもあり真剣に話しました。震災地で、未だ多くの帰らぬ人がいる海に向かってお参りすることの是非は？、支援ボランティアの若者達の姿に感動したこと、傾聴ボランティアは聞き役には女性が向いている？、寄り添うことの難しさ、等々について話し合いました。提言として、仲間意識を高める「高知家」で盛り上がる高知県民に習い、ボランティア活動だけでなく普段でも、ひと目で浄土真宗門徒と分かるように、例えば下がり藤のバッジをつけ仲間意識を醸成してはどうかという案が出されました。



## 中央教修参加について

鳥取因幡組 浄徳寺

永 原 千津子 (釋円証)

朝戸先生に、お逢いしたく参加させて頂きました。

義父の容体が悪くなり八月十一日入院、九月十五日に亡くなりました。先生も言われていましたが、義父さんほんとうによく頑張りましたねと、声を掛けてあげました。義父は、私達にこのような身体にならないと、人間は亡くならないのだと見せて下さったように思います。

先生が言われた、阿弥陀様との約束を守っていますか？

私は、一人でも多くの方に声を掛け連研にお誘いさせて頂きましたが、昨年は、一人も連研に参加してもらえませんでした。今年お誘いした方が三名、連研に行つて下さいました。

班別の話し合いの中で色々な事を聞かせて頂きました。一人一人がお寺の中心的な役割をされてい



る事、その中でも自分の出来る事を精一杯させて頂きました。また、二十年前に門推になられた先輩の方は、門徒が減ってきている事に、先生方初めお寺の方々も、もっと危機感をもって皆さんに訴えていかなければと、あつく語っておられました。

私に出来る事、あらためて、一人でも多くの方に連研をお誘いさせて頂き、門推になって頂きたいと思わせて頂きました。

**山陰教区門徒推進員連絡協議会・会則**

**〔名称〕**

第1条 この会は「山陰教区門徒推進員連絡協議会」という。(以下「この会」という。)

**〔事務局〕**

第2条 この会の事務局は山陰教区教務所に置く。

**〔目的〕**

第3条 この会は、山陰教区内の門徒推進員相互の連帯、及び親睦を図り聞法者としての自覚と研鑽に努め、また門徒推進員の役割を果たすと共に、宗門の実践運動推進のための活動を行うことを目的とする。

**〔活動〕**

第4条 この会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- 1、教区の実践運動に参画し、門徒推進員としての活動に努める。
- 2、研修会、法座活動、会報発行など目的の実現のための各種活動を行う。
- 3、門徒推進員の養成に関する活動を行う。
- 4、所属寺院における諸行事への参加、各教化団体と連携のもと、寺院の興隆に努める。
- 5、その他、必要とする活動を行う。

**〔構成〕**

第5条 この会は、門徒推進員の登録者をもって構成する。

**〔役員と任期〕**

第6条 この会に、次の役員を置く。

- 会長 1名。
- 副会長 1名。
- 理事 若干名。
- 事務局 1名。
- 会計 1名。
- 幹事 若干名。

**監事 2名。**

- 2、役員任期は2年とし再任を妨げないものとする。尚、役員に欠員を生じ、その後任となつた役員任期は、前任者の残存期間とする。

**〔役員選任〕**

第7条 この会の役員選任は、次の各項による。

- 1、理事は各単位組の門徒推進員協議会で選出された会員とする。
- 尚、理事の員数は下記の通りとする。
- 但し組の門徒推進員協議会が未結成のときも、下記(1)項に準じて理事を選出する。
- (1) 単位組の会員数49名まで 1名。
- (2) 単位組の会員数50名以上 2名以内。

- 2、会長・副会長は、この会の理事会における理事の互選による。
- 3、事務局は、山陰教区教務所職員に委嘱する。
- 4、会計は、理事の内から会長が委嘱する。
- 5、幹事は、会員の内から会長が委嘱する。
- 6、監事は、理事会において会員の内から選出する。

**〔役員職務〕**

第8条 役員職務は下記の通りとする。

- 1、会長は、この会を統括し代表する。また、山陰教区教務所長の承認を得てこの会の運営にかかる会議などを招集する。
- 2、副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3、理事は、この会の運営にあたる。
- 4、事務局は、この会の事務全般を所掌する。
- 5、会計は、この会の会計全般を所掌する。

**〔顧問〕**

- 6、幹事は、事務局の職務を補佐する。
- 7、監事は、この会の会計を監査する。

**〔顧問・参与〕**

第9条 この会に顧問、及び参与を置くこととする。

- 1、顧問は、山陰教区教務所長とする。
- 2、参与は、会長経験者とする。

**〔会議〕**

第10条 この会の会議などは、次の通りとする。

- 1、この会の目的達成のため、総会・理事会を開催し、会長がこれを招集する。
- 2、理事会は、必要に応じ会長が招集し、この会の運営にあたる。尚、理事会はこの会の決定機関とし、議決は出席理事の過半数をもって決定する。
- 3、会長は、前2項以外で必要とする会議を開催することができる。

**〔会計〕**

第11条 この会の経費は、会費、及び山陰教区の助成金、またはその他の収入をもって充当する。

- 2、この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
- 3、予算・決算は理事会の承認を得て、総会に報告する。

**〔会則の改定〕**

第12条 この会則の改定は理事会において承認し、在席の3分の2以上の承認で決定し、総会に報告するものとする。

**〔付則〕**

- 1、この会則は、1996(平成8)年8月1日から施行する。
- 2、この会則は、1999(平成11)年4月28日に施行する。
- 3、この会則は、2000(平成12)年10月31日に施行する。
- 4、この会則は、2013(平成25)年6月7日に施行する。

- ①栗原俊雄 (くりはらとしお)  
 ②神門組 真宗寺  
 ③私は、今後小さな疑問にも積極的に立ち向かい、その解決に向かって努力することを誓います。

- ①角田昭典 (つのだあきのり)  
 ②鳥取伯耆組 香宝寺  
 ③晨朝参拝、法座のご聴聞に努めます。

- ①新川裕二 (しんかわゆうじ)  
 ②鳥取伯耆組 香宝寺  
 ③・朝晩我が家の仏壇に灯明をかかげ生かされていることに感謝の気持ちを含め、お念仏をあげます。  
 ・家族や職場の子どもや職員を中心に浄土真宗の教えを伝え、広めます。

- ①青亀恵一 (あおかめけいいち)  
 ②鳥取伯耆組 香宝寺  
 ③齢を重ね、還暦を迎えた人生の節目の時に、連続研修と中央研修にて自分の宗教を見つめる機会を得ました。世界にはいろいろな宗教・宗派があり、現在までその大義のもとに、テロや殺戮行為などの残虐な行為がなされてきました。人を救うのが、宗教の本旨だと思っていますが、その本旨を改めて強く認識した研修でした。  
 門徒推進員として何ができるのかということはありませんが、さらに研鑽を積み、浄土真宗の教義を正しく理解し、まず、自分自身の人生を全うすることからはじめたいと思っています。

- ①池三津孝 (いけみつたかし)  
 ②鳥取伯耆組 香宝寺  
 ③私は、み教えの聴聞を重ね、又、多くの方々と交流を深め、門徒推進員として歩んでまいります。

- ①磯江昭 (いそえあきら)  
 ②鳥取伯耆組 香宝寺  
 ③私は家族を大切に、出来る限り朝参りすることを誓います。

- ①森脇和恵 (もりわきかずえ) 釋周弘  
 ②出雲組 妙寿寺  
 ③別紙にて

- ①大崎洋子 (おおさきようこ)  
 ②神門組 明源寺  
 ③私の心の依りどころとし、もっとお念仏申す人生を送りたいから。

- ①手銭マツエ (てぜんまつえ)  
 ②神門組 長泉寺  
 ③何も考えず中央教修を受けさせて頂き、日を追って私には何が出来るかと思っはありますが、これと言う事も出来ずまず一からと思い、お寺の法要法座からとお参りさせて頂いておる日々です。今後も一人でもさそってお参りしたいと思っております。

- ①江角昭信 (えすみあきのぶ)  
 ②神門組 明顕寺  
 ③私は明顕寺の維持委員としてその役割を果たします。

- ①中原隆 (なかはらたかし)  
 ②鳥取因幡組 願正寺  
 ③お寺の行事には出来るかぎり参加します。

- ①永見克久 (ながみかつひさ)  
 ②出雲南組 善徳寺  
 ③寺報の編集等諸活動を通して、門徒の皆様、特に次の世代の人々にみ教えの慶びを伝えていきたい。

- ①塚崎育生 (つかざきやすなり)  
 ②浜田組 清岸寺  
 ③はじめまして、塚崎と申します。私は一昨年の二二九回中央教修を受けさせて頂きました。が直ぐにお寺様のお手伝いをする事などできようはありますがありません。大したことはできないかもしれませんが、まずは自分自身がお寺に足を運んでお参りすることだと思っています。その結果としてお手伝いとなればよいと思っております。また、自分自身のためにも、どうぞよろしくお願ひします。

## 質問

- ①氏名 (ふりがな)  
 ②所属寺  
 ③門徒推進員としての決意

- ①木村克己 (きむらかつみ)  
 ②神門組 光林寺  
 ③お寺の行事等に積極的に参加するとともに、子や孫そして多くの人々にみ教えの輪を広げます。

- ①江角寿栄美 (えすみすえみ)  
 ②神門組 明顕寺  
 ③仏婦の活動が炭火のような感覚で長く、暖かく継続できるよう協力していきたいと思ひます。

- ①持田厚子 (もちだあつこ)  
 ②出雲組 宗玄寺  
 ③お寺の活動には進んで参加させて頂き、門徒の方とのご縁を大切にしていきたいと思ひます。

- ①西村和子 (にしむらかずこ)  
 ②出雲組 月光寺  
 ③門徒推進員としての決意 私が出雲組連研と門推中央教修に参加させて頂きましたのもご院家さん坊守さん月光寺の門徒さんたちのご支援があったからこそであります。話し合い法座での多くの方々との出会い、その輪を忘れず、そしてご本願を信じて、できるだけ沢山のご門徒さんがお寺の法座にお参りされ、ご聴聞されますようお誘いしたいと決意しております。  
 『報恩講 参る寺あり幸せに 友の輪広げて なもあみだぶつ』

- ①福島伸子 (ふくしまのぶこ)  
 ②出雲組 西念寺  
 ③み仏に聞く喜びを分かちあえる御同朋のつながりを広める活動に女性の立場を生かして参加していきたいと思ひます。

- ①曾田悟 (そたさとる)  
 ②出雲組 妙寿寺  
 ③仏弟子として阿弥陀如来のみ心を聞き念仏を称え御恩報謝の生活を送ります。



寄稿

新会員の声



朝五時五十分の

鐘の音と晨朝参拝

鳥取伯耆組 香宝寺

角田 昭典 (釋威徳)

早朝五時五十分に香宝寺の鐘が響き渡ります。引き続き六時より前任職を導師に「正信偈」「和讃」「歎異抄」「御文章」のお勤めが三六五日欠かすことなく繰り返されます。

何かに導かれる様にご縁があつて、(特に具体的に理由が見当たらないのが不思議です。)晨朝参拝を始めて、丸五年があつという間に過ぎました。

当然の成り行きとして、仏壮メンバーに参加させて頂き、毎月の仏壮例会(法話と話し合い)とお寺行事に参加させて頂いている。その後必ず、前任職・仲間とのアルコール入り和氣調々懇親会が始まります。そこでは皆の憩いと本音が語られ、これが毎回延々と盛り上がります。これこそ真の例会で

はないかと信じて楽しみにしております。そんな中、本山での「二〇一四年二月の第二三二回中央教修」に参加してみても・・・の話題となり前年度修了者の面々の強力プッシュもあつて、勢い五名で参加することになりました。

早いもので、はや一年が経とうとしております。元来、集団行動が苦手な私ですが、その四日間は緊張感の張り詰める中、貴重な体験と出会いを得ることが出来た事に深く感謝いたしております。特に暗闇の中、蠟燭の灯りに照らされての「決意表明」は足の震えが止まらず、そのシーンは今でも脳裏に深く刻まれています。一生の宝物の一つです。

難しい理屈より、感動と出逢いが人生を変化させ、深くしてくれるものなのでしょう。

凡人そのままでもいい、ご縁を頂いた阿弥陀さんに導かれ、救われつつの日暮らし、未来を先回りすることなく、過去を無闇に振り返ることなく、限りある今日一日一日を精一杯大切にしながら、長い目で人生を味わいたいと思つて居ります。

ご縁を結んでいただいた法要

出雲組 妙寿寺

森 脇 和 恵 (釋周弘)

「次は門推だね。」四年前本山での親

鸞聖人七五〇回大遠忌法要に参加させて頂いた折、同じ所属寺の参加者の方にその声を掛けられました。その時私は「門推とは何ですか。」と逆に質問するほど門徒推進員について何も知らずにいました。まさか三年後連続研修に参加し、そのまま中央教修まで受けることになるとは。けれどあの時「次は門推」と言つて下さらなければ、連研に参加しようと思わなかったかも知れません。法要に参加した事が門徒推進員のご縁を結んで下さったのです。

中央教修では本当に忘れられない出会いと体験を致しました。四日前まで名前も知らなかった方達に心の内を晒し励まされ、そつと寄り添つて下さる阿弥陀様の存在をこれほど近くに感じた事はありませんでした。

門徒推進員としての活動は未だありませんが、中央教修での体験を糧に、皆様の心に寄り添つて行けるような活動をして参りたいと思ひます。

合掌

感謝

神門組 明顕寺

江 角 昭 信

私は七年前に妻をドナーとして生体肝移植を行いました。当時あと二年の命と宣告され、その道程で来世に向かいつつ歩んでいたところでしたが、

移植手術の機会を得るとともに移植直後の「せん妄状態」の中で、縁故の先祖から道中「おまえはまだまだ修行が足らん。来世に来る資格など未だない」と追い返されました。現世へ追い返してもらつたご先祖に一言お礼を申し上げたいと思つていた矢先、連研と中央教修に参加させて頂いたご縁をいただきました。

中央教修で体験した多くの話し合い法座は、自分自身の命を見つめどう歩んでいくかを気づかせていただく貴重な時間となりました。肝移植は成功したとはいえ、今日までに肝炎再発、脳梗塞、横隔膜ヘルニア、糖尿病性腎症と度重なる再入院の病魔にみまわれました。そのたびに如来さまのご回向をいただき、ひたすら南無阿弥陀仏の念仏を称え続け心も穏やかになりました。

また特に印象に残っている決意表明式では、阿弥陀如来さまの本願力によって、信心をめぐまれ念仏を称えつつ御恩報謝の生活を送らせていただけるようにと決意表明しました。その時の安穩殿阿弥陀如来さまの輝きとスタッフのみなさまの激励の言葉に包まれた光景と相まつて、この決意は一生忘れることはありません。

み仏の光を仰ぎ、常にわが身をかいりみて感謝のうちに励みます。

浄土真宗の生活信条より

### 寄稿

## 会員寄稿



に決定し予約した。②班長宅ではお茶と茶菓子は出さないようになって、いることを今年からは、門徒講集金手数料を茶菓子代として班長宅に提供し昔のように簡単な茶話会を開催する。③終了後に葬式など仏事の作法などのミニ勉強会を開催する。など参加者を増やし住職との触れ合いを大切にしながら正しい知識や寺に対しての関心を持って戴けるように努力して行きます。

### 「班別報恩講」の取り組みについて

鳥取伯耆組 香宝寺

西山賢一

当寺院に於いては班単位で班別(地区別)報恩講が実施されています。私の集落には十五班あり、私の班は二十九戸中で門徒数は十七戸です。住職が各家を回られた後に最終となる班長宅には各家からも集まり班としての報恩講が行われます。

最近では班長宅に集まる人がだんだん少なくなり、時期を十一月末で予約するとストープの準備があるとか、五軒目単位でのお茶当番で今年もお茶当番となったなどの苦情もあり、班内の人間関係及びお寺との関係も段々と希薄になってきていると感じています。

この班別報恩講はとても良いシステムであり、今後も維持発展させる為に、①今年から毎年十月の最終土曜日

### 私に出来る活動

松江組 明宗寺

福原一字

七年前(二〇〇八年)、自坊の坊守さまから「連続研修を受けてみられませんか」とのお誘いを受けましたが、どのような内容であるのか不安が先に立つ状況でありましたが、それでも何とか六月間十二回の研修を修了し、翌二〇〇九年、一年で最も寒い二月六日から九日に渡る第一九四回中央教修に参加し、諸先生に「聴く事」を学ばせていただきました。

「私は、親鸞聖人のみ教えを一つでも多く身につけ、地域で活動します」と、決意表明で発言しましたが、内心は何をすべきか何をしたらよいか全くわからない状況で京都を後にしたわけです。しかし松江組の門徒推進員諸先輩がたの導きにより活動の輪に

加わることができました、ここ数年にわたり松江組門推理事をつとめ二回の研修会を十三ヶ寺住職ならび四九名の門推員への案内取り纏め、連研の手伝、そして自坊における年十回の常例法座案内、ならびに年五回の清掃奉仕案内など、少しずつではありますが今できる実践運動としています。いつまで出来るのだろうかと思いましたが、そこは「無常の世の中」であり、これからは真宗門徒の基本「お聴聞」のご縁に会わせていただきたいとぞんじます。

### 門徒推進員の思い

江津組 願乗寺

西本佳矩

何!何をやるの!門徒とは浄土真宗(親鸞聖人)の教えに生きる人々のこと。

とにかく親鸞さまの教えに心から尊崇している人びと、昔から「うちは真宗だよ、何々寺の門徒だよ。」と親から伝え聞いている人びと或はその家をさしている。

お寺に参集し浄土真宗の教え(南無阿弥陀仏の念仏)の謂れを聞かされ、日々の生活に安穏と充実感を頂いている人々である。

しかし今、昔の様に門徒の家の者であり乍らお寺に参り聴聞する人が少

くなった。

生活形体、慣習や生活環境が大きく変った今の世の中、一家総出で一つの仕事(農業)をして生計を立てた時代、三世代四世代同居の時代から、子は子核分散それぞれの拠点を持つ時代、昔形体の家庭が少なくなった。

生きるのも簡単ではない時代、どの様にお念仏相続やお寺の護持相続して行くのか。

ここに門徒推進員の制度を理解し実践して行くべきでしょう。

昔の様に子や孫が、朝夕仏壇の前に座して「お経」や「御文章」を拝読している親の姿を見て育っていない時代だと思えます。

まして子や孫に「お念仏」の謂を如何にして伝え相続してもらおうか、これも門徒推進員の原点でしょう、地道に実践活動が続けること。

はなばなしく動くのも一つの方法かも知れませんが、先ず、我が家の足もとから固めていくのも門徒推進員の役目と思えます。

浄土真宗のあるべき姿、中味を深く知る事も地味な活動ながら門徒推進員の責務と思えます。

浄土真宗は人間の本性を知らせられ育てられる、自然界の真実の真理(占い、迷信で無く)まことの教であること、私と言う人間を知らせられる教えであります。

この真の教えを相続していくのが門徒推進員かと思うものです。

合掌



### 2013(平成25)年度 山陰教区 門徒推進員連絡協議会 一般会計歳計決算

#### ▷歳入の部

費目	平成25年度予算額	平成25年度決算額	対比△減	摘要
1会費	528,000	529,000	△ 1,000	
2助成金	100,000	100,000	0	教区助成金
3参加費	380,000	480,000	△ 100,000	
1総会・研修会	172,000	240,000	△ 68,000	2,000×86名
2実践研修会	208,000	240,000	△ 32,000	2,000×104名
4諸収入	68,504	144	68,360	連区実践研残金
5前年度繰越金	840,856	840,856	0	平成24年度繰越金
合計	1,917,360	1,950,000	△ 32,640	

#### ▷歳出の部

費目	平成25年度決算額	平成25年度予算額	対比※超過	摘要
1事業費	247,200	500,000	252,800	
1総会・研修会	109,400	250,000	140,600	
2実践運動研修会	137,800	250,000	112,200	
2広報費	105,000	120,000	15,000	ともしび15号印刷費
3会議費	140,200	220,000	79,800	
1理事会費	119,100	200,000	80,900	6月7日 12月24日
2監査費	21,100	20,000	※1,100	
4通信費	22,240	40,000	17,760	
5事務費	9,440	30,000	20,560	事務用品
6旅費交通費	37,000	50,000	13,000	第4連区研にかかる諸費用
7回金	0	50,000	50,000	
8記念事業費	600,000	600,000	0	結成20周年特別会計へ回金
9予備費	183,755	340,000	156,245	結成20周年特別会計へ回金
合計	1,344,835	1,950,000	605,165	

歳入合計 1,917,360  
 歳出合計 1,344,835  
 差引合計 572,525

2014(平成26)年4月16日  
 会計帳簿、通帳を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。  
 山陰教区門徒推進員連絡協議会

監事 棚原 功 印  
 監事 渡部 まり 印

### 2013(平成25)年度 事業報告

期日	事業名	事業内容
4月16日(火)	監査会・理事会	2012(平成24)年度 会計監査
6月7日(金)	理事会	総会・研修会について 教区門推結成20周年について
7月10日(水)～11日(木)	第4連区門徒推進員連絡協議会	【会場】(本願寺山陰教堂) 【内容】第4連区門徒推進員実践運動研修会について 【出席者】各教区代表者6名・担当者5名
7月13日(土)	平成25年度総会・研修会	【会場】本願寺山陰教堂・教化センター 【講師】吉川 光城 師(飯南組真向寺) 【テーマ】「仏・法・僧～三宝をよりどころとして～」 【参加者】86名
10月26日(土)～27日(日)	第4連区門徒推進員実践運動研修会	【会場】ホテル宍道湖【山陰教区担当】 【講師】脇谷 曉融 師(北海道教区十勝組妙覚寺) 【テーマ】「門徒推進員と実践運動」 【講題】「御同朋の社会をめざす」ということ ～つながっていく、引き継いでいく 【参加者】102名
12月24日(火)	午前～ともしび編集委員会 午後～理事会	ともしび15号について 実践運動研修会について
3月8日(土)	実践運動推進研修会	【会場】本願寺山陰教堂 【講師】松浦 英篤 師(大田東組真浄寺) 【講題】「本願念仏のみ教えに出会い、 「問い」を持ちながら生きて往(ゆ)こう」 ～「実践運動」をふまえて、次のあゆみを～ 【参加者】104名
2月18日(火)	門推結成20周年記念誌完成	教区門推員、教区内寺院、全教区へ配布
3月25日(火)	会報「ともしび第15号」発行	1000部発行
* 門推結成20周年記念誌作成委員会随時開催		

### 2014(平成26)年度 山陰教区 門徒推進員連絡協議会 一般会計歳計予算

#### ▷歳入の部

款項	平成26年度予算額	平成25年度予算額	対比△減	説明
1会費	541,000	529,000	12,000	
1今年度会費	540,000	529,000	11,000	会員数 1,000円×540名
2過年度会費	1,000	0	1,000	費目新設
2助成金	100,000	100,000	0	教区助成金
3参加費	480,000	480,000	0	
1総会・研修会	240,000	240,000	0	2,000×120名
2実践研修会	240,000	240,000	0	2,000×120名
4雑入	475	144	331	費目名称変更
5前年度繰越金	572,525	840,856	△ 268,331	平成25年度繰越金
合計	1,694,000	1,950,000	△ 256,000	

#### ▷歳出の部

款項	平成26年度予算額	平成25年度予算額	対比△減	説明
1事業費	500,000	500,000	0	
1総会・研修会	250,000	250,000	0	総会研修会開催経費
2実践運動研修会	250,000	250,000	0	実践運動研修会開催経費
2広報費	120,000	120,000	0	ともしび16号印刷費
3会議費	250,000	220,000	30,000	
1理事会費	200,000	200,000	0	理事会 2回予定
2編集会議費	30,000	0	30,000	款目新設 ともしび編集会議費
3監査費	20,000	20,000	0	項繰下 (27年度に新設)
各種研修会参加費用				
4通信費	40,000	40,000	0	
5事務費	30,000	30,000	0	事務用品
6交通費	70,000	50,000	20,000	費目名称変更
7回金	0	50,000	△ 50,000	
記念事業費	0	600,000	△ 600,000	費目削除)
8予備費	684,000	340,000	344,000	款繰上
合計	1,694,000	1,950,000	△ 256,000	

### 2014(平成26)年度 事業計画

期日	事業名	事業内容
4月16日(水)	監査会・理事会	2013(平成25)年度 会計監査
5月14日(木)	理事会	総会・研修会について
6月23日(月)～24日(火)	第4連区門徒推進員連絡協議会	【担当】 備後教区 第4連区門推協実践運動研修会について 【出席者】 会長・担当者
7月13日(日)	平成26年度総会・研修会	【会場】 出雲ビックハート 【講師】 坂原英見師 【テーマ】 新教材・連研ノートEについて 【参加者】 151名
10月4日(土)～5日(日)	第4連区門徒推進員実践運動研修会	【担当】 備後教区 【講師】 朝戸 臣統師(岐阜教区飛騨組神通寺) 【テーマ】『御同朋の社会をめざす運動』 ～そとつながる ホッがつたわる～とは? 【募集人員】 100名程度(山陰教区20名予定)
12月	ともしび編集委員会 理事会	ともしび16号について
3月7日(土)	実践運動推進研修会	【会場】 本願寺山陰教堂・教化センター 【講師】 大田東組高林寺住職 菅原俊軌師 【講題】 「わたしにできるお伝い」～自省をこめて～
2月	ともしび編集委員会	ともしび16号について
3月	会報「ともしび第16号」発行	1000部発行予定

## 門 推 役 員 名 簿

	氏 名	所属組・寺			氏 名	所属組・寺	
会 長	三村 善信	鳥取因幡	光輪寺	理 事	井上 静夫	神 門	長泉寺
副会長	西本 佳矩	江 津	願乗寺	理 事	藤井 健蔵	神 門	乗光寺
参 与	日野 実	出 雲	源光寺	理 事	深石 尚武	飯 南	一念寺
参 与	松浦 靖	松 江	明宗寺	理 事	広澤 英雄	出雲南	善徳寺
参 与	上田 克夫	神 門	長泉寺	理 事	田中 圓而	大田東	常見寺
理 事	池原 宏	鳥取因幡	願正寺	理 事	中西 義昭	大田西	瑞泉寺
理 事	下田 貞夫	鳥取伯耆	覚善寺	理 事	石田 雅春	邑智西	光西寺
理 事	福原 一字	松 江	明宗寺	理 事	佐々岡光宏	浜 田	正蓮寺
理 事	岸本 邦夫	出 雲	東林寺	監 事	渡部みどり	出 雲	源光寺
理 事	江角 明夫	出 雲	覚専寺	監 事	郷原 功	出 雲	成福寺

## 本願寺山陰教堂常例法座

### 2015(平成27)年度「燈映会」出講予定

燈映会法座	実施月日	出講者名	寺院名
	4月21日 (火)	徳 川 真 英	大田東組浄土寺
	5月21日 (木)	小 玉 教 雄	千須賀組浄福寺
	6月19日 (金)	佐々木 かおり	三隅組明顯寺
	7月21日 (火)	北 島 清 秀	神門組乗光寺
	8月21日 (金)	菅 本 了 道	大田東組立善寺
	9月16日 (水)	小笠原 宣 隆	邑智東組西福寺
教堂落成記念法要	10月21日 (水)	朝 枝 暁 範	安芸教区山県中組本立寺
	12月21日 (月)	三 浦 志保子	江津組正福寺
御正忌報恩講法要	1月21日 (木)	本 多 昌 道	滋賀教区蒲生下組願證寺
	2月19日 (金)	玉 野 覚 明	飯南組明覺寺
	3月18日 (金)	三 明 浄 信	大田西組照善坊

●各月午後1:30～ ※教堂落成記念法要、御正忌報恩講法要は、午前10:00～と午後1:30～の二座。

## 編 集 後 記

教区門推会報「ともしび第十六号」をお届けします。諸務に追われ発行予定日を大幅に遅れましたこと、お詫び申し上げます。

ご寄稿いただいた方々、また編集に携わっていただいた門推理事さまに感謝申し上げます。

教区門徒推進員連絡協議会を担当させていただいて三カ年がたちました。研修会等で教区内の門推員さんをはじめ、中四国の門推員さんにもお会いする機会がよくなりました。

いつも感じることは、どの門推員さんも活き活きとされているということ。各教区、各寺院に於いても宗教離れやご法義相続の危機を問題にしながらも、門推員の方々は前向きで発展的な思いの中で活動されておられる姿に頭が下がります。

ご門徒さまを始め門推員の皆さまの実践されているその姿を見ながらこの私が育てられているのだなあ・・・、そんなことを思いながら事務を執らせていただいています。

(担当者)